

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	橋梁管理事業			コード	14110
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 中楯博一
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適な生活を支え、住み続けたいまち		
		政策	都市基盤の整備	施策	幹線道路と交通網の整備
		予算科目	橋梁維持補修費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり
		根拠法令	道路法、河川法、道路交通法		

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	橋梁利用者（通行者）のために、市内にある橋梁を定期的に点検し、良好な状態に維持する。また、破損箇所等を発見した場合は、迅速に維持補修を行う。		
目的	対象者	橋梁利用者（通行者）	
	意図	将来的な財政負担の提言と、道路交通の安全確保	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	平成26年度から平成30年度にかけて実施した橋梁の点検結果を反映して、岡谷市橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行い、「岡谷市橋梁長寿命化修繕計画（第2期）」を策定。 待張川第一橋、中村沢第四橋、一ノ樋橋の修繕工事を実施。 滝ノ沢第三橋、三沢跨線橋、中村役場橋の橋梁補修設計業務を実施。 中央町一・二丁目歩道橋や岡谷駅歩道橋の清掃等を実施。		
前年度の課題への対応	高速道路に跨る橋梁（6橋）のうち、利用者が少ない橋梁の選択を行い、集約化や撤去について地元地区と調整を始めた。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	58,590,389	91,035,223	27,604,235	35,919,000
経常経費	851,213	851,213	1,127,235	1,419,000
臨時的経費	57,739,176	90,184,010	26,477,000	34,500,000
* 臨時的経費の説明	交付金を活用した、橋梁長寿命化修繕計画（第2期）策定業務や橋梁修繕工事関連			
② 人件費	5,600,000	5,600,000	9,600,000	9,600,000
正規職員の人数（人）	0.70	0.70	1.20	1.20
③ 合計コスト（①+②）	64,190,389	96,635,223	37,204,235	45,519,000
前年度比		150.5%	38.5%	122.3%
財源	18,566,389	44,601,223	14,976,235	12,649,000
一般財源				
内訳	45,624,000	52,034,000	22,228,000	32,870,000
特定財源				
* 特定財源の説明	社会資本整備総合交付金、公共施設等適正管理推進事業債、道路整備事業債			
④ コストに関する補足説明	交付金を活用した、橋梁長寿命化修繕計画（第2期）策定業務や橋梁修繕工事関連			

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
社会資本整備総合交付金	件数	9	7	6	4
	金額	31,724,000	41,401,000	14,028,000	18,975,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	31,724,000	41,401,000	14,028,000	18,975,000
	割合	54.15%	45.48%	50.82%	52.83%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 5年に1回の点検頻度で行うことが義務づけられ橋梁点検において、JRや高速道路に跨る橋梁(11橋)の点検費用が課題。
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 橋梁の集約化や撤去を実施する。
改善方法	
改善開始時期	2022年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	---	---